

公表

2025年度事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	SUN-Sano			
○保護者評価実施期間	2025年 8月 25日		～	2025年 10月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数)	37名 (きょうだい利用2組)
○従業者評価実施期間	2025年 8月 26日		～	2025年 10月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実したスタッフ数	7名の常勤スタッフと1名のパートスタッフを配置しています。有給休暇所得率の向上、教育機会の確保などにより職員の定着をはかっています。	スタッフ一人一人の質の向上を図るため所内研修の実施、外部研修受講および奨学金制度利用について推進しています。
2	専門的支援の実施	エビデンスが認められている支援を展開するため、TEACCH®、PCIT、CARE、PECSなどの国際資格取得者を配置しています。また、公認心理師、社会福祉士、作業療法士、保育士などの国家資格や臨床発達心理士、特別支援教員免許保持者も配置しています。	eランニングなども活用して、専門的知見を深めています。また、奨学金制度の活用を推進しています。
3	保育所等訪問支援の実施	今年度、保育所等訪問の時間を増やすなどして利用枠増を図りました。時間増に伴い訪問支援員も1名増やしています。	訪問支援員の専門性向上のためのOJTを実施しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等デイサービスを行っていないため、同一事業所での継続した支援が難しいこと。	人材の確保や質の確保が困難なこともあり、事業運営の予定はありません。	現在、移行支援として関係機関連携で放デイや小学校と情報共有していますが、さらに連携を強化していきます。
2	専門性が高い個別セラピー(45～60分)を実施していますが、枠を多く設定することが人員の問題などから難しい。	国際資格や国家資格所得者1、2名で1人の児に対応しているため、件数を増やすことが困難です。	
3	地域住民を招待しての行事などを実施できていない。	支援業務優先で実施しており、なかなか手が回らない状況です。	負担を増やさずに開催する方法について情報収集中です。